

前画面へ戻る

科目名	英米の歴史と社会B
科目名(英訳)	British & American History and Society B
科目ナンバー	HF333D02
詳細情報	授業外学修時間:週4時間
担当者 (非)は非常勤講師	本内 直樹
単位数	2
開講学年	3年
開講セメスター	秋期毎週
対象学科 選択・必修	必修: 選択:HF
他学科受講	
履修順序・履修情報	
担当者及び時間割	
カリキュラムの中での位置付け ／DP(ディプロマ・ポリシー)	3年生以上に開講される科目(秋学期)。イギリス・アメリカの人びとの生活様式や文化・価値観、社会のありかたが現在までどのように変化してきたのかを学ぶ科目である。英米の歴史をきちんと知っておくことは英米文化の正確な理解に通じると同時に、かの国の人々と実りあるコミュニケーションも期待できます。英米文化を包括的に理解するための基礎領域科目と位置付けられます。 【ディプロマ・ポリシー(DP)】2024年度入学生以降対象 ③:○ ④:◎
身につく基礎力 / 身につく汎用力	傾聴・受信力 クリティカル思考力 / 豊かな教養 思考力 協調性・協働性(公益心)

授業の主旨 (概要)	秋学期では20世紀のイギリス・アメリカの歴史を扱う。英米諸国の資本主義の変容と社会変化を振り返る。英米経済の成長と衰退にまつわる諸局面が社会や人々の日常生活にどのような影響をもたらしてきたのか理解を深めたい。歴史上の一見無関係に見える諸現象や変化の相互関連性および因果関係を捉えることのできる分析眼を養う。																		
具体的 達成目標	1)20世紀のイギリスの歴史・アメリカの歴史の概観を理解し、豊かな教養を身に付けることができる。 2)様々な歴史的要因を相互に関連付け、イギリス・アメリカ社会の歴史的变化を理解することができる。 3)史実を論理的に組み立てる思考力と多様な解釈の可能性のあることを理解し、多様な価値観を尊重しながらも自らの基軸をもって意見を表明でき、主体的に行動できる力を身に付けることができる。 4)事前・事後学習を通して自律した学習活動を継続して行い、学び続ける能力を身に付けることができる。																		
	<table><tr><td>1</td><td>【内容】 第1週:社会史とは何か</td></tr><tr><td></td><td>【授業外学習】 事前:歴史研究にはどのようなジャンルがあるのか調べておく。 事後:社会史の研究書・論文を発見しておく。</td></tr><tr><td>2</td><td>【内容】 第2週:20世紀初頭の英国王室の危機</td></tr><tr><td></td><td>【授業外学習】 事前:王室の歴史を調べておく。 事後:王室関連図書はどのようなテーマで研究されているのかまとめておく。</td></tr><tr><td>3</td><td>【内容】 第3週:第二次世界大戦への道:全体主義と民主主義</td></tr><tr><td></td><td>【授業外学習】 事前:「大衆」の定義についてまとめておくこと。 事後:大衆社会の特質を整理しておくこと。</td></tr><tr><td>4</td><td>【内容】 第4週:第二次世界大戦の経験と社会変化</td></tr><tr><td></td><td>【授業外学習】 事前:20世紀の戦争について調べておくこと。 事後:戦争が社会をどのように変えるのかまとめておくこと。</td></tr><tr><td></td><td>【内容】 第5週:戦後イギリス福祉国家の成立</td></tr></table>	1	【内容】 第1週:社会史とは何か		【授業外学習】 事前:歴史研究にはどのようなジャンルがあるのか調べておく。 事後:社会史の研究書・論文を発見しておく。	2	【内容】 第2週:20世紀初頭の英国王室の危機		【授業外学習】 事前:王室の歴史を調べておく。 事後:王室関連図書はどのようなテーマで研究されているのかまとめておく。	3	【内容】 第3週:第二次世界大戦への道:全体主義と民主主義		【授業外学習】 事前:「大衆」の定義についてまとめておくこと。 事後:大衆社会の特質を整理しておくこと。	4	【内容】 第4週:第二次世界大戦の経験と社会変化		【授業外学習】 事前:20世紀の戦争について調べておくこと。 事後:戦争が社会をどのように変えるのかまとめておくこと。		【内容】 第5週:戦後イギリス福祉国家の成立
1	【内容】 第1週:社会史とは何か																		
	【授業外学習】 事前:歴史研究にはどのようなジャンルがあるのか調べておく。 事後:社会史の研究書・論文を発見しておく。																		
2	【内容】 第2週:20世紀初頭の英国王室の危機																		
	【授業外学習】 事前:王室の歴史を調べておく。 事後:王室関連図書はどのようなテーマで研究されているのかまとめておく。																		
3	【内容】 第3週:第二次世界大戦への道:全体主義と民主主義																		
	【授業外学習】 事前:「大衆」の定義についてまとめておくこと。 事後:大衆社会の特質を整理しておくこと。																		
4	【内容】 第4週:第二次世界大戦の経験と社会変化																		
	【授業外学習】 事前:20世紀の戦争について調べておくこと。 事後:戦争が社会をどのように変えるのかまとめておくこと。																		
	【内容】 第5週:戦後イギリス福祉国家の成立																		

授業計画	5	【授業外学習】	事前:福祉国家の諸政策を調べておくこと。 事後:福祉の理念をまとめておくこと。
	6	【内容】	第6週:1950年代のイギリス社会
		【授業外学習】	事前:生活水準の指標について調べておく。 事後:経済成長と生活水準の関連性をまとめておく。
	7	【内容】	第7週:1960年代のイギリス社会
		【授業外学習】	事前:戦後若者意識がどのようなものか調べておく。 事後:若者文化が市場経済の中でどのように働くのかまとめておく。
	8	【内容】	第8週:20世紀史の論点整理と総括(確認テストを含む)
		【授業外学習】	事前:ノート・プリントをもとに講義内容の確認をしておくこと。 事後:社会変化を自分の言葉でA3用紙2枚以内にまとめる。
	9	【内容】	第9週:1960年代のアメリカ社会:ベトナム戦争
		【授業外学習】	事前:ベトナムの歴史を調べておく。 事後:冷戦構造を世界史的に把握しておく。
	10	【内容】	第10週:1960年代のアメリカ人種隔離政策と黒人公民権運動
		【授業外学習】	事前:キング牧師の演説内容を調べておく。 事後:黒人公民権運動の歴史的意義をまとめておく。
	11	【内容】	第11週:1960年代アメリカの黒人女性の社会的地位
		【授業外学習】	事前:黒人と白人のあいだの経済格差を調べておく。 事後:人種隔離政策の実態についてまとめておく。
	12	【内容】	第12週:1960年代～70年代の社会:ベトナム戦争と沖縄
		【授業外学習】	事前:日本におけるベトナム戦争の受容について調べておく。 事後:沖縄米軍基地の問題をまとめておく。
13	13	【内容】	第13週:1980年代のイギリス首相:マーガレット・サッチャー:人と哲学
		【授業外学習】	事前:サッチャーの経歴を調べておく。 事後:サッチャーの前半期の実績をまとめておく。
	14	【内容】	第14週:マーガレット・サッチャーの新自由主義の光と影
		【授業外学習】	事前:サッチャリズムの成果を調べておく。 事後:イギリス史におけるサッチャーの評価についてまとめておく。
15	15	【内容】	第15週:これまでの総括(確認テスト含む)と解説
		【授業外学習】	事前:20世紀後半期についての講義内容を整理・理解しておく。 事後:20世紀の社会変化を自分の言葉でA3用紙2枚以内にまとめる。
授業方法	配布プリントに沿った形で講義を進める。適宜、視聴覚教材を用いる。毎回の授業で提出させるコメントシートで出た質問やコメントに対して個別にメールで回答する、もしくは翌週の授業で受講者全員に紹介し共有して理解を一層深める。		
成績の評価方法	出席状況・積極性・コメントシート30%、確認テストの成績70%		
成績の評価基準	上記の合計が60点以上を合格とする。		
教科書			
参考文献			
備考			
関連ホームページ			
メールアドレス	本内 直樹 see8757@fsc.chubu.ac.jp		
オフィス			